

ベクトル (4) 2直線の交点①

左図より  $\vec{OP} = \vec{a} + t\vec{d}$

右図は  $\vec{d} = \vec{AB}$  とした。  
このとき

$$\vec{OP} = \vec{a} + t\vec{AB}$$

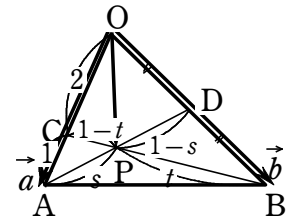
$$= \vec{a} + t(\vec{b} - \vec{a})$$

$$\vec{OP} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$$

1  $\triangle OAB$  において、 $OA$  を  $2:1$  に内分する点を  $C$ 、 $OB$  の中点を  $D$  とし、線分  $AD$  と線分  $BC$  の交点を  $P$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$  とするとき、

(1)  $\vec{OP}$  を  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  を用いて表せ。

(2) 直線  $OP$  と線分  $AB$  の交点を  $Q$  とする。 $\vec{OQ}$  を  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  を用いて表せ。



【解答】 (1)  $AP:PD = s:(1-s)$  とすると

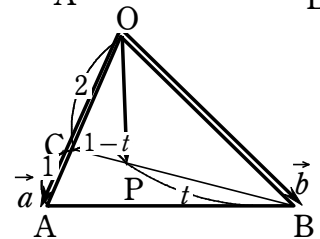
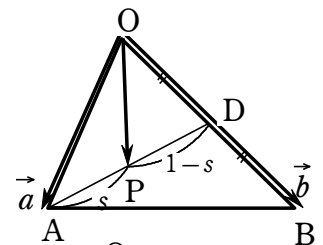
$$\vec{OP} = \text{[ ]}$$

$$= \text{[ ]} \dots\dots ①$$

$BP:PC = t:(1-t)$  とすると

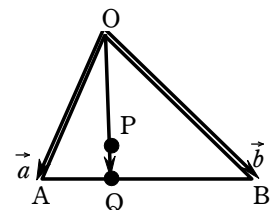
$$\vec{OP} = \text{[ ]}$$

$$= \text{[ ]} \dots\dots ②$$



①、②より

(2)  $\vec{OQ} = k\vec{OP}$  とおく。



2  $\triangle ABC$  の辺  $AB$  を  $2:3$  に内分する点を  $D$ , 辺  $CA$  の中点を  $E$  とする。直線  $BE$  と  $CD$  の交点を

$P$  とすると,  $\overrightarrow{AP} = \frac{\text{ア}}{\text{イ}} \overrightarrow{AB} + \frac{\text{ウ}}{\text{エ}} \overrightarrow{AC}$  であり, 直線  $AP$  が辺  $BC$  と交わる点を  $Q$  とすると

$BQ:QC = \text{オ} : 2$  である。